

『情報収集・安否確認手段』

手段	内容
テレビ	地上波デジタル放送テレビの一般放送 地上波デジタル放送テレビのデータ放送 栃木テレビ 鹿沼ケーブルテレビなど
ラジオ	栃木放送 地域FM放送 ワイドFM
パソコンなど	鹿沼市のホームページ radiko（ラジオ放送をnetで聴ける） 防災気象情報（気象庁キキクル、国土交通省、民間の気象サービス）の活用
固定電話	公衆電話の活用 災害伝言ダイヤル171 直接電話をかけることは、回線が混雑しているので、避けた方が無難
スマホなど	災害用伝言板（Web171） 災害伝言ダイヤル171 radiko（ラジオ放送をnetで聴ける） ”NHKニュース・防災”の活用 SNSの活用（X、LINEなど） 予備の電源を確保すること

『災害時の安否確認手段』

● 災害用伝言ダイヤル「171」を利用する

NTTでは、地震や噴火などの災害発生時に、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながらない状況になった場合、速やかに災害用伝言ダイヤルのサービスを開始します。事前契約は不要で、サービスの開始はテレビなどで知らせます。（使い方は裏表紙を参照）

● 携帯電話の「災害用伝言板」を利用する

携帯電話各社は、大規模災害発生時に災害用伝言板サービスを提供します。被災地の人の安否情報を伝言板に登録でき、登録された伝言は、同じ会社の携帯電話やスマートフォンはもちろん、他社の携帯電話やスマートフォン、PHS、パソコンからも見ることができます。（使い方は裏表紙を参照）

● 「公衆電話」を利用する

大規模災害時で広範囲にわたり停電が発生している場合には、公衆電話は無料で通話（国内のみ）できます。

緊急通話用ボタン付き電話
緊急ボタンを押すか、コインを入れて通話（通話後コインは返却されます）
デジタル電話
カードを挿入しなくても受話器をとるだけで通話が可能

● 遠隔地に連絡中継点をつくる



災害時であっても、被災地から被災地以外の場所への電話は比較的つながりやすいと考えられます。そこで、遠隔地の親せきや友人などに依頼して、連絡中継点になってもらう方法も有効です。